

<活動報告書>

フリガナ	オオイトケンリツオオイトコウギョウコウトウガッコウ	
①学校名	大分県立大分工業高等学校	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	建築科 教諭
	TEL	
	E-mail	
③申請テーマ	BIMの活用	
④活動期間	2023年 4月 ~ 2027年 3月	
⑤活動内容を記載	<p>活動内容 本活動では、福井コンピュータ株式会社様より無償提供いただいたBIMソフト「GLOOBE」を活用し、建築分野のデジタル設計技術の習得と発信に取り組んだ。昨年度までは、建築科棟の3DモデルやRC構造のマンション、2階建て木造住宅、理想の住まいの設計など、複数の建築物モデルを作成し、用途に応じた設計表現の違いやモデリング手法の習得を中心に活動を行ってきた。今年度は、これまでに培ったBIMモデリング技術を活かし、建築やBIMの魅力を広く伝えることを目的とした活動へと発展させた。オープンスクールや小学生向けイベントに参加し、BIMで作成した建築物モデルをタブレットやPC、VRゴーグルで体験できるブースを運営した。来場者には、3D空間を歩くように建築物内部を体感してもらうことで、建築のデジタル化がもたらす分かりやすさや楽しさを伝える取り組みを実施した。</p>	
⑥活動説明動画の有無	ある ・ なし	
⑦活動費用合計 ※シート②の「2.実績額」の「①事業に要する費用」の合計がリンク	200,000 円	

※原則「活動説明動画」の提出をお願いします。「活動説明動画」を提出していただいた場合は記載不要です。

<活動状況写真>

※原則「活動説明動画」の提出をお願いします。「活動説明動画」を提出していただいた場合は「活動状況写真の貼付、状況説明の記載」は不要です。

【写真1】



(状況説明)
BIMの3Dモデル
これまでに制作してきた校舎、住宅、マンションなどのBIMモデルを活用するための操作技術や提示方法の習得を中心に取り組んだ。イベントでの体験型展示を見据え、モデルの視点切り替え、動線の設定、軽量化、見やすい画面構成の工夫など、参加者が扱いやすく理解しやすい形で提示できるように調整を行った。また、VR体験やコントローラー操作に適した表示方法の研究や、説明時に効果的なモデルの見せ方も学び、BIMデータを“伝えるためのツール”として活用するための技術を身につけた。

【写真2】



(状況説明)
オープンスクール
オープンスクールでは、中学生にBIMの概要や操作方法を説明し、実際にモデルを操作してもらう体験を行った。タブレットやPCでの画面操作に加えて、VRゴーグルを使った没入型の建築体験も提供し、参加者が楽しみながら建築の魅力に触れられるよう工夫した。これらの体験を通して、建築のデジタル化がもたらす分かりやすさや楽しさを伝えることができ、多くの中学生に建築分野への関心を高めもらう機会となった。

【写真3】



(状況説明)
くらふとりんくに参加
地域イベント「おおいた くらふとりんく 2025」では、BIMを活用した建築体験ブースを出展し、小学生と保護者を対象に活動を行った。約500名の来場者に対し、建物モデルの展示に加えて、コントローラーを用いてゲーム感覚で建物内を自由に探索できる体験を提供した。VRや自由視点操作を通じて、子どもたちは建築空間の面白さを直感的に感じることができ、保護者にも建築のデジタル技術の魅力を伝える機会となった。